

第3回 A 中学校(仮称)準備委員会 会議録

開会日時 令和7年8月8日(金) 午後 2時00分
閉会日時 令和7年8月8日(金) 午後 3時40分
場 所 佐屋保健センター 2階 会議・研修室

■ 出席委員

委員長	勝田 拓真
東保町総代(市江小学校区)	加藤 保
稲葉町総代(佐屋小学校区)	牛田 尚健
内佐屋町総代(佐屋西小学校区)	眞野 保
戸倉町副総代(立田北部小学校区)	西村 憲一
佐屋中学校学校評議員	中村 博子
立田中学校学校評議員	城 泰平
市江小学校 PTA	藤田 哲朗
佐屋小学校 PTA	西水流真央
立田南部小学校 PTA	片岡まゆか
立田北部小学校 PTA	上野 和也
公募委員	林 紀子
公募委員	安田 里美
公募委員	上田 昌代
公募委員	上田 城弘
佐屋中学校校長	吉次 章浩
立田中学校校長	服部 洋子

■ 欠席委員

森川町総代(立田南部小学校区)	伊藤 眞二
佐屋中学校学校評議員	横井 直
立田中学校学校評議員	浅野 季子
佐屋中学校 PTA	佐藤 精一
立田中学校 PTA	菱田 裕哉
佐屋西小学校 PTA	佐藤 英助

■ 事務局

教育委員会

教育部長

教育部次長

学校教育課長

学校教育課主幹

学校教育課課長補佐

学校教育課課長補佐

学校教育課主査

学校教育課主事

佐藤博之

飯田裕子

伊藤光

荒井昇

坪井靖史

齋藤公治

水谷繁夫

祖父江悠里

■ 傍聴者

0名

1. 開会
2. あいさつ
3. 副委員長の選任について
4. 議事
 - (1) 本年度の目標について
 - (2) 検討部会での検討事項について
 - ①検討部会員の選出
 - ②令和7年度の検討事項について
5. 閉会

<p>(学校教育課長)</p>	<p>本日はご多用の中、定刻までにお越しいただきありがとうございます。本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤です。よろしくお願いたします。森川町総代の伊藤さま、佐屋中学校学校評議員の横井さま、立田中学校学校評議員の浅野さま、佐屋中学校 PTA の佐藤さま、立田中学校 PTA の菱田さま、佐屋西小学校 PTA の佐藤さまにつきましては仕事の都合により、欠席の旨、連絡がありましたので報告いたします。ただ今より、第3回 A 中学校（仮称）準備委員会を始めます。当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となります。なお、本日の傍聴の方につきましては、お見えになっておりません。また、本会議では、オブザーバーとして、愛西市教育委員会の水谷委員が同席しておりますので、ここでご報告いたします。最後に、当委員会議事録作成のため、事務局も録音をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。続きまして、本日配布の会議資料について、ご確認をお願いいたします。配布資料として、次第、資料1「佐屋中学校・立田中学校の概要」、資料2「施策2 A 中学校（仮称）スケジュール（案）」、資料3「A 中学校（仮称）創設に向けた進行計画」となっております。不足がありましたらお知らせください。</p> <p>《不足なし》</p>
<p>(学校教育課長)</p> <p>【教育長】</p>	<p>それでは、次第の2あいさつ、河野教育長、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆さん、こんにちは。令和7年度の最初の会議ということで、挨拶をさせていただきます。教育長の河野でございます。よろしくお願いいたします。子どもたちの顔を思い浮かべながら、適正規模化により進級した子どもたちにクラス替え発表や担任発表に歓声を上げさせてあげたい。多くの友達と励まし合い、高め合い、何かを成し遂げる中で、多くの仲間、親友との出会いを作ってあげたい。部活動で運動部以外の吹奏楽など、文化部を選択できるようにしてあげたい。多様化する進路の選択に悩む時期、より多くの友達と情報を交換し、相談し合う機会を作ってあげたい。固定化しやすい対人関係の中で、悩む子どもが、あるいは家庭があれば、クラス替えで救ってあげたい。主なものですが、以上のような思いを教育委員会では共有しております。これからの時代、子どもたち一人一人が多くの個性や、価値観に触れ、自己決定をしていく多様性の時代を生きていきます。そんな中、夢や志を持って、しなやかに人生を切り開き、未来社会の作り手になってほしいと願っております。私は、子どもたちの交流する力に期待しております。きっと中学生は、新たな</p>

	<p>校区の中でも、新たな出会いの中で、互いの家庭へ遊びに行ったり、メールの交換をしたりして、すぐに新たな交流を生み出してくれるでしょう。家族ぐるみの交流も増えるでしょう。保護者から地域の方へと交流が広がっていくのではないのでしょうか。本日は誠にご多用の中、皆様方におかれましては、施策2 A 中学校（仮称）準備委員会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。愛西市教育委員会では、令和6年3月に策定した愛西市小中学校適正規模並びに老朽化対策基本計画【第I期：令和6年度～令和13年度】に示した5つの施策のうち、現在、適正化に取り組む施策2のA 中学校（仮称）準備委員会と施策3のB 中学校（仮称）準備委員会と、老朽化に取り組む施策1の佐屋小学校準備委員会と施策5に当たる永和中学校体育館老朽化対策を並行して進めています。昨年、本委員会に諮問した、適正規模化による佐屋中学校と立田中学校の再編について、ご意見を交わし、報告をしていただく本年度になりますが、どうかよろしく願いいたします。この先には、市の財政との厳しい調整があるわけですが、準備委員会委員の皆様には新しい中学校の礎を共に考えていただければと思っております。どうかよろしく願いいたします。</p>
<p>（学校教育課長）</p>	<p>続きまして、勝田委員長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>皆様、こんにちは。本年度も委員長を務めさせていただきます、勝田拓真と申します。よろしくお願いいたします。大変暑い日が続いている中、本日の準備委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ちょうど私の勤務大学では今週から学生も夏休みに入ったところです。小中学生は夏休みの真ただ中というところですが、特に今年の夏は酷暑で危険であるため、なかなか屋外で元気に遊ぶということができずに、以前の子どもたちと比べて、かわいそうだな、残念だなと思いますが、暑さを考えると、致し方ないかと思えます。今後、屋外で過ごすということも教育課題になってくるのではないかと思います。大人の私達も不要な外出は避けてくださいといった話がありますが、そのようなことは難しいですね。皆様方もそうかと思えますので、どうぞご自愛くださいませ。本日の資料にもありますが、昨年度3つの部会で、委員の皆様方に様々な意見を出していただきました。また、2月には瀬戸市の小中一貫校、にじの丘学園にも見学に行っていました。学校の再編に様々な課題を出していただき、再編に向けて真摯なご意見を頂戴することができました。本年度もさらに積極的にご意見やご質問を出していただき、本準備委員会も実りあるものとしていただくことを願っております。ど</p>

<p>(学校教育課長)</p>	<p>うぞ本日も忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。次第の3に入る前に、本年度より委員としてご参加いただく方々をご紹介します。東保町総代の加藤 保さま、内佐屋町総代の眞野 保さま、森川町総代の伊藤 眞二さま、戸倉町総代の西村 憲一さま、佐屋中学校学校評議員の中村 博子さまです。本来であれば、一言ずつご挨拶をいただくところですが、時間の都合上、お名前のご紹介のみとさせていただきます。本年度、よろしく願いいたします。では、続きまして、次第の3副委員長の選任に移ります。昨年度、副委員長を務められました館 昌晃さまが昨年度末で総代を退かれ、準備委員会委員を退任されましたので、改めて副委員長を選任いたします。「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準備委員会等設置要綱第6条」において、委員長及び副委員長を置くとなっており、選出に当たっては、委員の互選となっております。委員の皆さんからの立候補あるいは、ご推薦をお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>立田中学校学校評議員の城さまを推薦します。</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>副委員長に立田中学校学校評議員の城さまをというお声がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>《拍手》</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>拍手多数によりご承認をいただきましたので、副委員長は城さまに決定させていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>《席移動》</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>それでは、副委員長の城さまよりご挨拶をいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>選任いただきましたので、務めさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。こういった事業は関係する方々にとったら、先がどうなるのかといった不安や期待など、あるかと思えます。皆様が満足いただけるかという、なかなか難しいかと思えますが、そこを目指し、良い落としどころを探しながら、務めていきたいと思っております。よ</p>

	ろしくお願いいたします。
(学校教育課長)	ありがとうございました。続きまして、次第の4議事に移ります。ここからの進行についてですが、「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準備委員会等設置要綱第7条」に従い、勝田委員長、進行をお願いいたします。
【委員長】	それでは、次第の4議事に入ります。(1)本年度の目標について、事務局より説明してください。
(事務局)	<説明>
【委員長】	資料1、2の説明につきまして、委員の皆様、何かご意見はございますか。
(委員)	昨年度より参加させていただいておりますが、スケジュールを見させていただいたところ、昨年配布された令和6年9月の資料では、施設の調査が令和7年度の頭からになっていて、令和7年3月の時点では、令和7年7月になっていたものが、今回の資料では令和8年度の頭となっておりますが、これは予算が取れていないから時期が伸びてきているという解釈でよろしいでしょうか。
(学校教育課長)	予算について、財政当局とは調整、協議を続けておりました。現在のところ、令和8年度の当初予算で計上したいということで財政当局と調整しているということです。現状のところは、ご理解いただきたいと思っております。
(委員)	昨年度も同じように計上できる予定だったが、昨年度はできなかったということですね。
(学校教育課長)	そうです。現在のところ、令和8年度の当初予算で調査の予算を計上したいということで、財政当局との調整を行っております。
(委員)	そこが始まらないと、この話のゴールが見えてこないと思いますので、そこだけは一步でも先に進むようにしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

<p>【委員長】</p>	<p>ありがとうございます。その他、ご質問やご意見はございますか。中々手を挙げて発言するということは難しいかと思いますが、特に新しく委員になられた方、疑問でも構いませんので、ご発言いただければと思います。</p> <p>《その他委員意見なし》</p>
<p>【委員長】</p>	<p>それでは、(2) 検討部会での検討事項について、①検討部会員の選出について、事務局より説明してください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p><説明></p>
<p>【委員長】</p>	<p>ありがとうございました。5人の新しい委員の皆様方は、昨年度の委員の方に所属いただいた検討部会をそれぞれ引き継いでいただくということでしたが、いかがでしょうか。</p> <p>《該当の委員異議なし》</p>
<p>【委員長】</p>	<p>ありがとうございます。それでは、引き継いでいただくということで進めさせていただきます。それでは、(2) 検討部会での検討事項について、②令和7年度の検討事項について、事務局より説明してください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p><説明></p>
<p>【委員長】</p>	<p>ありがとうございます。資料3について説明がございましたが、開校年をXとして、X-4年の項目から検討を進めていければというお話でございました。また、項目のうち毎年検討するものについては、今までと同様に毎年検討を行っていくという説明でした。自分の所属する部会以外の分野でも構いませんので、委員の皆様、何かご意見はございますか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>まず、資料3の丸が付いている部分の丸のついての意味がよく分かりません。検討をするだけなのか、丸が何を示しているのか、いまいち分からなかったです。本来の計画があるかと思いますが、先ほどの資料2のスケジュールを見ると、計画に対して何をしたという中身が全く見えず、ワードの資料だけで検討したよという内容だと、進捗が全く見えないので、そこについては何か提示できるものがあるかと思います。資料3についても、丸の部分を検討したというだけで終わってしまうと、何</p>

<p>(事務局)</p>	<p>に対して意見をすれば良いのか分からないですし、検討の意味があるのか分からないという段階に入ってしまうと思います。出来れば、検討の内容や計画に対しての指標や、結果、課題を説明に付け加えていただくと良いかと思います。</p> <p>ありがとうございます。例えば、7番の学校ごとの規律、方針の差の穴埋めについてですが、具体的には生徒指導になります。佐屋中学校と立田中学校の校則、ルールが異なっております。それぞれの生徒指導部会が市内にありまして、そちらで検討をしているという現状です。具体的には、服装や身なりなど、細かな部分が違っているので、すり合わせをして欲しいという意見を委員の方から以前いただいております。「学校生活について」というものが学校で生徒へ示されています。そういった物を皆様にも見ていただき、差異があるものは何か、そういったものをどのようにすり合わせていくのか、生徒会とも連携しながら、生徒の意見を反映させながら、その上でどうやって進めていくべきかというご意見をいただければと考えております。学校ごとの規律、方針の差の穴埋めについては、資料3で開校3年前から検討を進める箇所に丸がついております。3年前にそれぞれの学校規則等の差異を示させていただき、その上で、スムーズに移行しやすい、生徒の負担がかからないような移行方法を検討していただきたいと考えております。開校前で、資料3の別紙②や別紙③で示させていただいておりますが、学校の規律、方針については保護者への周知が必要ですので、開校1年前から周知を行い、必要に応じて修正を行っていくべきだと考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>先ほど、資料2のスケジュールの時にも質問がありましたが、新校舎完成までのスケジュールで、基本構想等が令和9年度以降となっておりますが、スケジュールが分からないのに、細かなことを話し合うこと自体が雲をつかむような話だと感じておりまして、開校X年が今現状、いつくらいだと考えることが妥当なのかも分からない段階で、ここまでの細かい話をする事について、イメージが湧かないということと、かなり細かい項目が書かれているかと思いますが、正直、部活動の現状など、学校の現状と合わせた話として、今後どうするのかを愛西市で話し合うことが適正なのかも分かりません。本来、校長先生方がお決めになるような話だと思いますので、検討項目として挙がっていることがびっくりしています。これを今議論して、どういった意味があるのかと思ってしまいます。</p>

<p>【委員長】</p> <p>(教育部長)</p>	<p>学校の先生で決めるということがメインにはなってきますが、学校は地域のコミュニティであり、地域の学校ですので、委員の皆様のお意見を伺いしながら、決めていくということが今の一般的な手法だと思います。</p> <p>スケジュールについてご質問をいただきました。校舎を改築または大規模改修して、A中学校（仮称）を新設する場合のスケジュールは最短で5年ということが過去の事例で示されております。その点を踏まえ、愛西市の学校につきましても、5年という期間の中で、A中学校（仮称）、B中学校（仮称）、佐屋小学校の老朽化対策を進めてまいりたいと考えておりました。皆様も新聞報道でご存じだと思いますが、愛西市の財政が非常に問題視されている状況であります。教育委員会といたしましては、当初の計画のスケジュールに基づいて、A中学校（仮称）を開校したいという考えのもと、今年度に入りましてからも、財政部局に教育委員会から今後の財源の確保について、申し入れをさせていただいたところでございます。この度、皆様方にお示しさせていただいた資料3の進行計画について、開校X年、そのマイナス1年、2年、3年、4年とさせていただきましたのは、開校する期間を5年とした場合に、来年度当初予算として調査の予算を計上させていただいた場合、今から5年後の令和11年4月1日から開校したいと考えております。なお、開校年がX年とさせていただきましたのは、議会においても開校年は差し控えさせていただくというご答弁しかしていないからです。資料3としてお示しさせていただいた177個の項目については、市教育委員会や教員のみで考えることでもなく、市民の皆様のご意見を踏まえ、進めていきたいという考え方のもとでお示しさせていただいています。次の第4回準備委員会の時点におきましては、開校を含めたスケジュールもお示しできるものと考えております。地域部活動につきましては、教員の多忙化解消のため、文部科学省より地域の各種団体で行っていくべきであるという考え方が示されましたが、文部科学省の予算措置も確保されていないという観点から、全国的にも進んでいないという状況です。愛西市では、部活動指導員という形で、土日の部活動については指導員の指導への意向を進めております。5年後には、部活動のあり方が大いに変わる部分が出てくる可能性があります。現状で文部科学省からの正式な方針が示されていないという観点から、現状をもとにご議論をお願いしたいということで、部活動の項目についても記載させていただいたということで、ご理解をいただきたいと思っております。皆様方には、委員として2年間の任期でどれだけの思いや意見を反映させることができるのかということで、様々な思いを持っていただいていることは重々承知しておりま</p>
----------------------------	--

<p>(委員)</p>	<p>す。財政部局との話し合いを経て、今後のスケジュールについては第4回の準備委員会でお示しできればと考えておりますので、今日のところは資料2のスケジュールでご理解いただきたいと思います。</p> <p>財政部局の話が出た中で、再度財政の話を覆いかぶせるように意見を言っ て申し訳ございませんが、今の生徒さんもいますので、体育館の空調設備設置やエレベーターの設置、車椅子の方を先生方が頑張って運んで いらっしゃるので、財政が無いと本当に大変だと思いますが、障害のある 子も自由に動けるような対策が必要だと思います。とっても暑いので、 冷房の効いている体育館は必要だと思います。今の小学1年生は6年間 通うので、今通っている子どもたちにも配慮しつつ、新しい学校ができ れば、また素晴らしい愛西市になるかと思ひます。覆いかぶさるような 意見ですが、今だからこそ言わせていただきました。</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>現状について、中学校体育館の空調については、永和中学校体育館以外 は今年度から空調を設置させていただきました。永和中学校体育館につ いては、雨漏りが起きた時に天井部材が落下したということがございま したので、大規模改修または改修をしなければならないということで、 近日中に実施する計画を持っておりますことから、空調の設置は行っ ておりません。ただし、スポットエアコンをご利用いただいております。 バリアフリー化については、入学児童生徒で車椅子等を利用される 方は教育委員会でも把握しております。事前に保護者の方には学校を訪 問していただき、どのような施設であれば学校に通っていただけるのか、 意見交換をさせていただき、入学前に修繕、設備の設置などを行い、対 応させていただいております。先ほどの体育館空調のご意見については、 防災の観点からご発言いただいたと認識しておりますが、教育委員会と いたしましては、学校校舎や体育館については学び舎を一番に考えてお ります。文部科学省からは避難所機能について示されておりますが、避 難所という位置づけでエアコンを設置するという考え方は持ち合わせて おりません。また、A中学校（仮称）、B中学校（仮称）、佐屋小学校や 永和中学校体育館の老朽化対策、立田南部・立田北部小学校の老朽化対 策も考えていく必要がございます。小学校体育館の空調については、防 災部局や財政部局と相談させていただいた後、財源が確保された場合に 設置していきたいという考えのもとに協議を進めているところなので、 ご理解をいただきたいと思います。令和6年3月に計画を策定させ ていただき、まだ2年経過していない状況ではありますが、財政があまり にも厳しく、計画に掲げる施策を進めることが難しいという場合には、</p>

<p>(委員)</p>	<p>市民の皆様にもご意見をいただきながら、計画の内容の変更も含めて早期に取り組む事も視野に考えているところでございます。</p> <p>過去に2回会議を開催されており、その内容を十分に理解していないので恐縮ですが、内容の整理をお願いしたいと思います。今日ここに来て、私に何ができるのか分かりませんが、精一杯誠実に務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。開校されるのがX年、その1年前～4年前にこういった内容を検討する必要があるが、現状X年が決まってないということですよ。他市や他県の状況を集められているのが資料3だと思いますが、今はこういった段取りが必要ではないかという意見を求められているのでしょうか。また、11月に予定されている検討部会で、何を検討すればよいのでしょうか。Xが決まっていない状態で、どのような意見を求められているのかを教えてください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>11月の検討部会でご検討いただく内容については、先ほどお示しした資料3の例えば、校名については公募にするのか、公募の場合、誰を対象とするのか、生徒にするのか、保護者にするのかなど、そちらについて、ご意見をいただければと思います。</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>今年度の検討していただきたいことについては、資料3のX-4年の部分に丸が付いているものをご検討いただきたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>A中学校（仮称）が完成したとして、その学校を40年、50年使うことになるかと考えられているかと思いますが、生徒数をどのように見立てて考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>第I期基本計画で、8年先の児童数を想定し計画を作成しておりますので、40年、50年先の視点は、教育委員会としては持ち合わせておりません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>40年、50年のことは考えられないにしても、開校後10年後くらいは考えておかなければならないと思います。</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>まちひとしごと創生総合戦略、各自治体が競って人口を増やすために様々な取り組みを行いました。本市といたしましても人口減少を抑えるために、土地の開発や子育て支援策等について取り組んでおり、教育委</p>

<p>【委員長】</p> <p>(教育部長)</p> <p>【委員長】</p> <p>(委員)</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>(委員)</p>	<p>員会は、他自治体より先行して、中学校の給食費無償化に取り組んでおります。</p> <p>着実に進めているということでした。その他、よろしいでしょうか。</p> <p>旧佐屋地区、旧立田地区、旧八開地区、旧佐織地区のような地区に思い入れがある方もお見えだということは重々承知しております。一方で、合併して20年経ちました。今まで通りの旧佐屋地区、旧立田地区、旧八開地区、旧佐織地区という名称を使い続けることがいかななものかというご意見があるのも確かでございます。特に本年度検討をお願いする校名や校章、校歌、校旗などについては、子どもたちがずっと使っていくものになりますので、これらを決めるにあたって、公募が良いのか、子どもたちに意見を聞くのが良いのか、そのようなことについてご意見をいただければと考えております。</p> <p>瀬戸市のにじの丘学園の場合は、7校が一緒になるということで、7色にかけて、にじの丘学園とされました。様々なアイディアがあるかと思えますので、ご意見をいただければと思います。少し話しにくい部分があるかもしれませんので、少し周りで話し合ってください時間を取りたいと思います。</p> <p>《委員同士で話し合い》</p> <p>それでは、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。大変恐縮ではございますが、委員会に参加した感想でも構いませんので、順番にご意見をいただければと思います。</p> <p>春に総代になりまして、こういった書類をいただいたのも2か月前でしょうかね。小中一貫校というような発想は無いのでしょうか。小中一貫校として、地域を活かすという発想はあったのでしょうか。</p> <p>計画としましては、中学校の再編となっております。佐屋中学校区には、市江小学校、佐屋小学校、佐屋西小学校と3つの小学校がございます。小中一貫校としてしまうと、規模が大きくなってしまいますので、中学校の再編とさせていただきます。</p> <p>愛西市の財政が厳しいというのは、景氣的にということでしょうか。</p>
---	--

<p>(教育部長)</p>	<p>まず、小中一貫校に関して、今回の佐屋中学校と立田中学校の適正化、八開中学校と佐織西中学校の適正化について、小中一貫校を進めるべきであるという意見が寄せられたことは事実としてございます。学校は、防災拠点の位置づけだけでなく、地域コミュニティの核としての役割については、従来から文部科学省よりも示されておりました。小規模校についてはメリットもありますが、メリットよりもデメリットの方が大きいと考えております。専門教員の数の確保や、学習機会の確保などを勘案させていただき、様々な協議を踏まえ、立田・八開地区への意向調査を行い、この計画に基づいて進めさせていただいておりますので、小中一貫校の考えが無かったわけではありません。今、教育委員会としては、小規模校のデメリットを踏まえ、学校適正化を進めさせていただいているということで、ご理解をいただきたいと思っております。また、立田南部小学校、立田北部小学校については、かなり老朽化が進んでいます。財源の問題で、現状の計画のスケジュールで進めることが難しいという場合は、計画内容の変更も視野に入れて、進める予定です。現状の計画では、佐屋中学校と立田中学校の再編が完了してから、立田南部小学校と立田北部小学校の再編した学校を立田中学校の跡地に作るという流れですが、立田南部小学校と北部小学校の老朽化の具合を確認し、早急に対応する必要がある場合は、先に小学校の施設への対応をしなければならないという考え方を持っていることはご説明させていただきます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私も今回初めて総代になり、本年度から委員として参加させていただくことになりました。以前に資料をいただいた際には、通学のことだけを考えて、後のことはPTAの方にやっていただけたらと思っていたのですが、地域課題部会への所属ということで、検討を進めていきたいと思っております。今の段階で、老朽化が進んでいるということで、やるしかないと思っております。予算を取るしかないと思っております。進行計画については、愛知県などの例を持ってきているのでしょうか。</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>実際には、既に統合されている学校は、弥富市や海津市、桑名市にもございます。統合の在り方が、今ある学校と小規模校に統合するという形であれば、大幅な変更はないと考えますが、立田地区の方の思いも考えさせていただき、新しい学校名、校章、校歌で、新しい学校として通学していただくという考えを持っております。今回の資料は、過去の先進事例を参考にさせていただいております。</p>

(委員)	177項目の検討項目が他市の例だけなのか、佐屋地区・立田地区だからその検討項目が入っているのでしょうか。
(事務局)	佐屋・立田地区の検討事項、委員の皆様からいただいた意見も含まれております。
(学校教育課長)	資料3のベースとなっているものは、南知多町の検討事項で、そこに昨年度、委員の皆様より検討部会で挙げていただいたご意見を追加したものになっております。
(委員)	会の中で、校名、校名という話があり、何のことだろうと思いましたが、学校名のことなのですね。あと、177項目を全てやらなければならないのかと思っておりましたが、自分の部会のX-4年の部分をやるということをお教えいただき、検討項目が半分になってほっとしているところです。解釈に時間がかかり、皆様にご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、よろしくお願いいたします。
(委員)	会議には直接関係することでは無いですが、皆さん2年任期で変わっていくかと思いますが、参加していない時期にやったことが分かる引継ぎを用意していただかないと、一から説明することになると、議事進行が滞ってしまうかと思いますが。
(事務局)	ご意見ありがとうございます。引継ぎが発生することは我々も想定しております。昨年度最後の会議で皆様に確認していただいた中間報告書、こちらが1年間検討した内容をまとめたものになります。こちらを委員新たにお願ひする際に、配布させていただいております。ただ、簡単な説明しかしておりませんでしたので、今後、委員の変更があった際には、より丁寧に進めてまいりたいと思います。
(委員)	本当なら、教育委員会さんももっと進めたかったのに、予算の関係で進めることができず、どうしても準備委員会が間延びしているような印象を受けています。せつかく集まっているので、出せる意見、私の場合だと小中学生の子がおりますので、そういった面で意見を出させていただければと思います。最初に教育長さんの挨拶で、クラス替えがなくていじめ等があった時に逃げ場がない、部活の選択することができないということが小規模校の欠点だという話があり、本当に逃げ場がなくて違う学校に行くしかないという子が実際にいるので、現状を考えて、もう少

	<p>し速足で進められませんかという意見を出させていただきましたが、今教育部長さんからお話があったように、立田南部小学校の廊下の話がありました。これから立田南部小学校に入学する子もおります。統合が5年後となると、今の施設のまま通うこととなります。それは怖いですが、もちろん、この進行計画については真剣に考えていきたいと思いますが、次回の準備委員会の時に、立田南部小学校、立田北部小学校の対応などをより詳しく聞かせていただきたいと思います。今のお話を聞かれた方は不安になるかと思いますが、予算が取れないのであれば、他の案を考えていく必要があると思いますので、そういった所も踏まえて、どうしたら子どもたちがこれから安全に楽しく学校に通えるかということを考えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
(教育部長)	<p>教育委員会としては最短のスケジュールで取り組むという考えのもと、計画を策定させていただきました。立田地域、八開地域については、当初学校適正化に関する反対意見が多かったということから、教育長を始め、私もそうですが、各地域の大字別の座談会を実施させていただき、座談会の際に個人的に感じたのは、高齢者、昔から住んで見える方は小中学校への思い入れが強いと感じました。ただ、一方で、これから学校に通うお子さんをもつ保護者については、小規模校ではクラス替えがないということと、現状、男女差がかなり激しいクラスが存在しているという状況を危惧する声もいただいております。立田南部小学校、立田北部小学校への取り組みが佐屋中学校と立田中学校の再編後に行う場合、どれだけの期間がかかるのかということも考慮し、あまりにもスケジュール感が示されない場合には、計画の変更も視野に入れて、考えていかなければならないということ考えております。また、学校生活を過ごす上で、児童や教員に不都合がないように修繕に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
(委員)	<p>今回、A中学校（仮称）の創設を進めるにあたって、教育委員会の方は出られていますが、その他関係のある部署の方は全く出られていないかと思っております。大体関係のある部署の方は出てもらわないと、議論ができないかと思っておりますが、その辺り、どのように考えてみえますか。</p>
(教育部長)	<p>学校は学び舎であると同時にコミュニティの核であり、防災拠点であるということは、文部科学省より示されています。今後、実施設計や基本設計を進めていく上において、コミュニティとして、防災機能との位置付けの面で、関係部署の職員と調整をさせていただき、また、委員の皆様</p>

	<p>様から関係部署の職員の同席を求められた場合には、関係部署の職員の派遣を考えてまいりたいと思っております。財政につきましては、第4回準備委員会で来年度の予算計上も含め、改めてスケジュールをお示しさせていただきたいと思っております。</p>
(副委員長)	<p>中々難しい内容だと思いますが、何せ何年度ということが全然決まっていないうことが難しいです。場所は決まっています、最短5年、単純に建設2年、実施設計1年、基本構想、計画で2年ということかなと思いますが、これは5か年計画ということで、市長までは話が通してあるということですよ。</p>
(教育部長)	<p>教育委員会と市長部局に関しては、総合教育会議という会議、正式な会議で公開の会議ですが、開催させていただいております。その場において、市長に対し、教育長をはじめ教育委員の皆様方からご説明させていただいております。</p>
(副委員長)	<p>市長に話をするときには、これくらいの期間で予算はこれくらいという内容で話を持っていくかと思いますが、今の話だと、この計画が無くなる可能性もあるということでしょうか。</p>
(教育部長)	<p>無くなる可能性は無いと考えております。試算に関しては、改修した場合、つい最近までは40億から50億、今は物価高騰で50億から60億となっております。</p>
(副委員長)	<p>当然、議会にも報告し、進めていくということですよ。</p>
(教育部長)	<p>議会については、毎議会で一番多く答弁させていただいております。</p>
(副委員長)	<p>スケジュールの話が出ているので、資料3はすごく細かい部分を書かれており、基本設計、実施設計の部分になるのではないかと思いますので、ここまで細かい部分が必要なのかとは思ってしまっています。一番は建設費が一番だと思いますが、予算の理由で先延ばししているのであれば、終わりを決めて欲しいというのは思っております。終わりというか、始まり、X年ですね。どんどん伸びていくと、話し合っていた関係している方がいなくなって、話し合いに参加してなかった方たちの子どもさんが関わってきてしまうので、第4回にはスケジュールが共有されるということですので、精査してきていただきたいと思っております。</p>

<p>(教育部長)</p>	<p>第4回については、少なくとも来年度の予算計上の考え方についてはお示しできると考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>単純にX年を5年後と設定した際に、本年度はX－4年の項目を検討したいという目標だと思いますが、それを考えると、部会の数が項目に対して少なすぎるのではないかと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>X－4年の部分を全て検討するのではなく、その中でいくつかの項目を検討していければと考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>校舎は何階建てかということ だけでも、決まっておりますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>A中学校（仮称）は、既存の佐屋中学校の位置に創設するということが決まっておりますが、建て替えるか、改修するかという部分は決まっておりません。改修の場合、建物を上に積むことはできませんので、今のままの3階建てになります。建て替えとなった場合は、何階建てになるかということも含めて、検討していくことになります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>何階建てでないといけないということはありますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>その辺りを調査して検討していくことになるかと思います。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>その他、よろしいでしょうか。</p> <p>《その他委員意見なし》</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>このように会議の回数も少ないですので、ご意見がございましたら、私どもにお伝えいただければと思います。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>それでは、これを持ちまして、第3回 A中学校（仮称）準備委員会を閉じさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。</p>